

安心で住みよい町に！

議会だより

からうら



地区

星

平成三年度壮年

昭和62年壮年記念

No. **66**
2013.10.30発行

.....

防災備蓄倉庫 充実	2
通年会期制の効果	4
命を守る「特別警報」	5
一般質問「県・町道の改修は…」	6▶13
古紙のリサイクル活動	14

.....

5995万円を可決

総額 36億8336万円に

防災倉庫



補正予算の主な内容

- * 防災備蓄倉庫 10棟 2627 万円
- * 介護サービス車 3 台買い換え 1180 万円
- * 農業施設災害復旧費 1091 万円
(沼江、与川内)
- * 勝浦病院耐震診断費 343 万円

コスモス会議



防災備蓄倉庫 充実

コスモス会議（9月会議）は3～5日、17～19日に開かれ、24年度の各会計の決算審査、補正予算や条例制定などが審議され、原案通り可決した。

また追加議案として、過疎地域自立促進計画の一部変更、固定資産評価審査委員会委員の選任や人権擁護委員の推せんについて審議し可決した。

一般質問には、8議員が町道や県道の改修政策、防災訓練のあり方について問いました。

議案に対し質疑



美馬議員 子育て会議の基本指針は何か。支援事業の計画や変更、当事者である親の意見を聞くことが重要であるが、委員会構成の保護者の割合はどれぐらいか。

大西福祉課長 今回の子育て会議は、子どもの支援に重点をおいた、計画を策定するためのニーズ調査を行う。委員構成の人数配分までは決まっていない。

川端議員 イメージキャラクター「ちよぞっ娘」のDVD制作費が計上されているが、ぬいぐるみをもっと活用すべきでは。

野上産業交流課長 ぬいぐるみは町外のイベントで活躍しているが、DVDを作成し、YouTubeなどで流し、さらにPRをして行く。

節議員 今回、設置予定の防災備蓄倉庫には棚がないが、備品を整理して保管するのに必要でないか。また、最低限必要な水や食料品は、町で一括購入できないか。

今までの定例会制では、決算認定を12月議会で行っていたが、今年度は通年会期制を導入したことにより、9月会議で実施した。

「特に留意すべき事項」を付け、全員一致で認定した。

【主な留意事項】

企画総務課

- 一般会計において不用額が4億円余り出ている。年度末の執行状況を精査し、減額補正など指導を。
- 消防常備化に向け、具体的な計画の策定を。

住民課

- 町営住宅使用料の徴収対策を強化。

福祉課

- 町民のニーズに合った交通弱者対策を早急に。

産業交流課

- 新規就農者対策や鳥獣害対策を積極的に。

建設課

- 沼江バイパスの未着工区内の早期推進を。

税務課

- 町民の立場に立った国保会計の健全化と、将来の県単位の統合化に向けた対応策を。

教育委員会

- 事務執行に不備な点が見られるので、適切な処理を。

勝浦病院

- 病床利用率の低下が見られるが、引き続き病室の環境改善を。



中角テレビ塔から東への「中角松嶽線」、延長900mを現地踏査し、町道に認定しました。

町道認定



補正予算で買い換える介護サービス車



人権擁護委員

任期満了に伴い次の方の推せんに同意しました。
滝花恒子氏（棚野）



固定資産評価審査委員会委員

任期満了に伴い次の方の選任に同意しました。
山本達夫氏（生名）

議員提出議案（全員賛成）

- ・「道州制導入に断固反対する意見書」
- ・「核兵器全面禁止条約の締結に関する意見書」

伊丹企画総務課長 棚は見積書では付いていないが、入れることはできる。備蓄品のうち、水や食料品は予算の範囲内で町が購入して、各区に配付したい。

国清議員 防災備蓄倉庫を、個人の土地に設置する場合は寄付となるのか。また、設置の工費はどうか。

伊丹企画総務課長 寄付でなく、各区で所有者と相談し、了解を得て設置。設置費は11万円くらいを見込んでいます。

協議事項

問 年間10万人とも言われる観光客が訪れる鶴林寺。駐車場横のトイレの改修を求める声を多く聞くが、今までに環境面での問題や、町が補助金を出して改修した経緯があるのかどうか。

答 教育委員会事務局 施設の管理者は鶴林寺であり補助金を出した経緯はなく、組み取り式のトイレであるが環境面での問題はない。

答 町長 トイレに対して苦情が多いと言うことは、観光面でイメージダウンにつながることを心配しているが、政教分離の観点から町として改修するのは難しいと考えている。

観光客の多い鶴林寺
トイレの改修を

国清一治議員



議会の放映について

部 公一 議員

問 議会活性化の取り組みとして、通年会期制の導入、議会モニター制度など数々の改革を行ってきた。

住民の身近にある議会として「開かれた議会」をめざしているが、その1つの手段としてテレビやインターネットでの放映がある。

ケーブルテレビを活用するのが現実的であり、議会として調査研究して行く必要がある。町長の考えは。

答 町長 情報公開の上でも大変重要で、最大の効果を上げられるよう協議を重ねて行きたい。

通年会期制 早期発注に効果！

町道「横瀬与川内線」
改良工事 1 工区

請負契約の承認
(6594万円)

8月19日、町道「横瀬与川内線」1工区の改良工事の請負契約が締結された。

従来なら9月定例会まで待っていたが、通年会期制を導入したことにより、8月会議で承認することができた。

1ヵ月早く発注することにより、工期に余裕を持つことができた。

質疑

部 議員

23年度の繰越事業であり、急ぐ必要があるが完了予定は。

また、交通規制の影響は。

柳沢建設課長

26年2月に完了予定である。

大きい重機が必要のため、工事完了まで全面通行止めにし、う回の協力をお願いしたい。

山野議員

石垣が張り出している部分はどうか。

柳沢建設課長

山側の中腹は、H溝を立てポケットを作る対策をする。



落石が多い改善センター北側



「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動を！

「特別警報」とは

東日本大震災や23年に那智勝浦町を襲った台風12号。今年の京都嵐山の
大洪水など、警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災
害の危険性が著しく高まっている時に発表されます。対象災害は大雨、暴風、高潮、波
浪、大雪、暴風雪の6種類で、今年の8月30日から運用が開始されました。

「特別警報」が出た場合、地域は非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市町村から発表される避難勧告・避難指示などの情報に留意し、ただちに**命を守る**ための行動をとってください。

「特別警報」が発表されないからといって**安心することは禁物です**。「特別警報」の運用開始以降も、注意報や警報は、これまでどおり発表されます。大雨等においては、時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報を活用して、早め早めの行動をとることが大切です

◀埼玉県越谷市の方向で発生した竜巻
(2013年10月2日)



みかんの温暖化対策は

貯蔵庫の冷房装置に補助

(産業交流課長)

山野忠男 議員



知識や経験が豊富な農家に試験栽培をしていただき支援したい。

問 他県の果樹研究所の温暖化対策の情報は。

答 小林副町長

他県の果樹研究所の事例は、高温障害対策が中心となっている。

県の研究所は温暖化に強い品種を探しており、優良なものがあれば農家への紹介も検討している。

答 山野上産業交流課長

県では、みかんの温暖化対策のための品種改良はしていない。

テスト栽培については、

答 山野上産業交流課長

「かん水施設」の助成は国の事業で一定の基準が必要。「貯蔵庫の冷房装置」は今年度から機能向上のため、2分の1で上限30万円の助成をした。

問 今後のみかん農業を持続させるためにも、町長の考えは。

答 中田町長

今後とも、もうかる農業をめざして、農業振興に取り組んで行きたい。

どうなっているのか

県道徳島上那賀線の改良

問 県道徳島上那賀線で、通行がスムーズにできない箇所として、青葉荘の東側。飯谷小学校対岸のH鋼の所。長柱バス停前のガードレールなど、状況はどうなっているか。

答 柳沢建設課長

青葉荘の東側60mは、用地交渉が終わって10月に着



「対向しにくいなあ〜」飯谷小学校対岸

手の予定。飯谷小学校対岸は、測量が終わり道路設計をしている。バス停前のガードレールは現在交渉中である。

良されるが、工事のスケジュールと安全対策は。

答 柳沢建設課長

改善センター北側の1工区は、9月20日から工事が始まる。2工区は10月初め発注予定。

安全対策としては、全面通行止めとする。

工事のスケジュールは

町道「横瀬与川内線」

問 「横瀬与川内線」が改

河野道雄議員



交通弱者対策

タクシー券の助成拡大を

利用者の拡大を図る（福祉課長）

問 タクシー券助成制度は、要支援1・2の人が対象で、町内の医療機関に限定されているが、3月議会では、より柔軟な運用に改善すると答えていたが、どうなっているのか。

答 大西福祉課長

現行の制度を見直し、利用者の拡大を図れるようにしたい。

答 中田町長

できるだけ早く結論を出し、利用しやすい制度にして行きたい。

問 「地域安心サポート事業」の内容は、どうなっているのか。

答 大西福祉課長

シルバー人材センターで11月から事業を始める。支援対象者は、65歳以上の独居世帯や高齢者、障がい者世帯で買い物代行や庭掃除、散歩の付き添い、エアコンのフィルター交換、ごみ出しなど全10項目のサービスを行う。

料金は、90分で1000円、90分未満は700円。

家庭ごみ減量対策は

問 1日1人当たりごみの量は勝浦町554gで、神山町250g、佐那河内村

は390gとなっている。ごみの減量目標を立て、コンポスト容器の補助率を上げて普及するなど努力すれば、1割くらいの減量は可能でないか。

答 中田町長

補助率を上げて、多くの方にコンポスト容器を購入していただき、ごみの減量



コンポストの普及を

化につなげて行きたい。また、「環境町民の集い」などで意識高揚を図り、協力をお願いしたい。

緊急に安全施設の改良を

問 25年度は、区長から町道改良や安全施設の要望が135件出ている。

高齢化が進むなか、安心・安全の確保のためにも、安全施設の改良は緊急を要するが、どうなっているのか。

答 柳沢建設課長

要望の内、安全施設は69件出されているが、町長から「できるだけ施行するよう」と指示を受けており、緊急性の高いところから執行して行く。

防災訓練

避難困難者の安否確認は

報告では1000人（企画総務課長）

美馬友子議員



問 9月1日に実施された、全町一斉防災訓練での安否確認の避難困難者（要援護者）数はどれくらいだったのか。

また、行政側の把握人数との違いはなかったのか。

答 伊丹企画総務課長

訓練での各地区からの報告は1000人だったが、福祉課で調査した数では196人である。

町に移行

どうなるのか 介護サービス

問 介護の必要性の低い要支援1・2の高齢者向けサービスが介護保険サービスの対象外となり、町の事業

問 高齢者や一人暮らしの世帯も多く、災害があれば救助が必要となる。安否確認に必要な情報や避難困難者数の把握は、各地区に任されているが、行政の情報提供はできないのか。

答 伊丹企画総務課長

196人のうち150人は情報開示の同意を得ている。地区で、情報収集困難な場合は開示することができる。

に移行された場合にサービス低下の心配はないのか。

答 大西福祉課長

介護保険制度改革が確定したわけではないが、町の負担が増す場合も考えられるが、即サービスの低下につながるわけではない。

問 特別養護老人ホームの入所が要介護3以上でないと入所できなくなると、自宅での生活はどうなるのか。

答 大西福祉課長

地域支援事業による、短期入所やデイサービスなどで対応できる。

現在、入所待機者は緊急で60人以上。

改正の内容が明らかになれば、実施可能なプランも考えて行かなければならない。

猛暑対策

中学校に エアコンを

問 記録的な猛暑が続いていたが、各学校の室温は勉

学するのに問題はなかったのか。

また、中学校にエアコンの設置が必要ではないか。

答 北島教育長

各小学校は比較的風通しがよく、特に問題はなかった。

答 中田町長

中学校は、自然通風を取

り入れ夏は涼しく、冬は暖かい工夫をしているが、今年には異常な猛暑であった。健康被害があつてはならないので、エアコン設置に向け、保護者の意見も聞いて対応して行く。

その他の質問

○学力テストの結果は
○学力向上支援員配置の効果は



「エコシャフト」手動は大変!!

森本 守議員



県道新浜勝浦線

どうなる中山工区

東側から進めたい（町長）

問 県内で唯一国道が通らない勝浦郡は、県道が命の道である。

町内には4本の路線が通っているが、改良工事が計画されている箇所とその進捗状況は。

答 柳沢建設課長

徳島上那賀線は、生比奈小学校西側の歩道工事中で、3分の2がほぼ完了。

阿南勝浦線は、24年3月にバイパス2期工事が開通し、3期の採択に向けて努力している。

新浜勝浦線は、中山工区が設定されているが休止している。

和喰勝浦線は、県道として認定されているが、勝浦側は町が管理し、昨年から社会資本交付金を使い、3カ所の内1カ所工事中で、近日中に1カ所発注予定である。

問 新浜勝浦線は、徳島上那賀線が大水時に通行止めとなった場合、う回路として重要な役割を果たしている。



工事が休止している中山工区

平成2年に県道改良に向けて、地元推進委員が用地交渉を進めてきた。現在、工事が中断しているが、できる所から工事を進めるべきでは。

答 中田町長

県に要望し、現地にも何回となく来てもらっているが、中山工区の西側が進ま

ない。

今後、東側などできる所から進めたい。

必要では

小型患者輸送車

問 現在の患者輸送車でも、乗り入れできない狭い道が

多い。今回、大型車を購入することになったが、小型の車で救急対応する必要があるのでは。

答 伊丹企画総務課長

大型患者輸送車までの間を、小型の消防指揮車で搬送して行くが、小型車の運用には、改造や機能の安全確保が必要である。

活用されているのか

提案制度

問 「職員提案制度」はどのように活用されているのか。

答 伊丹企画総務課長

23年度から実施の「行政改革推進プラン」で、今までに3件の提案があったが、事業が大きく、今の財政状況では難しいと判断し、採用はされていない。

防災訓練の改善を

住民自らが考える訓練に

(企画総務課長)

井出美智子議員



ベント化してきている。住民自らが考えて、積極的に参加できるような訓練のあり方を構築して行く。

問 「異常気象時代」、今後も記録的な猛暑、豪雨、突風などの極端気象となつて行くことが予想される。防災訓練は、被害を最小限に止め、地域防災力を向上させ、安全な地域づくりをめざすために、有効な対策である。来年度に向けた改善点はあるか。

答 伊丹企画総務課長

訓練も7回目となり、イ

聴覚障がい者に 援助用バンダナを

問 聴覚障がい者は、外見では障害があると判断できず、情報不足に陥りがちである。誰もが一目で確認できる、包帯にも活用できる災害時援助用バンダナを配布したらどうか。

答 大西福祉課長

どのような形状にするか、内容、費用等を調査する。

ジビエ料理で 地域活性化を

問 耕作意欲を失う鳥獣害対策の一層の強化のためにも、捕獲した鳥獣の食肉をジビエ料理として販売することはできないか。

答 野上産業交流課長

販売には、施設整備や資格を持った人材確保のほか、解体後の残さ処理費用など難しい問題もあり、今後の検討課題とする。

問 鳥獣害対策交付金が基金化されると、どうなるのか。

答 野上産業交流課長

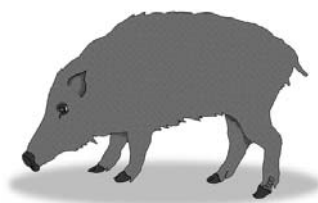
国では、26年度から100億円が予算化され、時期など弾力的な運用ができる。人材育成や「緩衝地帯」作りなど、新たなメニューが盛り込まれている。

空き屋撤去に補助を

問 災害発生時に、避難の妨げになる空き家の撤去費用の一部を負担する制度は、どうなっているのか。

答 柳沢建設課長

今年度の県の施策で、「老朽危険空き家除去支援事業」として助成金が交付される。ホームページ等で紹介したい。



川端雅夫議員



あまりにも多い滞納者

町営住宅使用料

自ら徴収に出向く（町長）

問 町営住宅使用料の滞納者があまりにも多いが、今までの徴収方法に問題はなかったのか。

また、連帯保証人にも督促はしたのか。

答 岩佐住民課長

滞納者に対しては23年度に9回、24年度には8回訪問し督促をしている。

連帯保証人には滞納状況を知らせ、文書で納付協力を依頼している。

問 今後の徴収方法はどのように対応するのか。

また、徴収できないときは、法的措置を検討してはどうか。

答 中田町長

私、自らが徴収に出るなど努力したい。

連帯保証人についても金額を明示し、立場の重要性を認識して、徴収に協力を求める。

また、徴収できない場合は法的措置をとりたい。

沼江バイパス工事

町も積極的協力を

問 今年6月に県議会議員

を通じ、町議員と地元関係者が県土整備局に陳情したが、今までと同じ「現道拡幅の方が早く金額も少なくて済む」とのことであったが、町の考えは。

答 小林副町長

バイパスは「現道拡幅」に比べ多額の経費がかかるが、町としては残土処理場確保により、工事費の縮減など早期着工に向け積極的に協力して行きたい。

問 もし「現道拡幅」に同意すれば、将来もバイパス

は絶対できない。町としてはあくまでもバイパスで通すと言う方針に変わりはないのか。

答 中田町長

「現道拡幅」は3億円くらいでできるが、バイパスの場合は3倍くらい工事費がかかる。



「おいしいよ。みかん狩りきてネ」

観光推進については、県外からのモニターの旅行者を募り、みかん狩りの体験などを実施し、県外客を呼び込む取り組みをしている。

どう進んでいる

定住自立圏構想

県の財政は厳しい状況にあるが、南海トラフ地震時の避難道路としての活用も含め、バイパスを県に強く要望している。

答 松本病院事務局長
地域医療については、市民病院との連携を強化し、紹介患者による医療の提供、医療機器の共同利用、医療従事者への研修を実施している。

問 徳島市との間で定住自立圏構想が結ばれているが、その内容について議会に対して何の報告もない。具体的内容は。

答 野上産業交流課長
23年度から「とくしま食材フェア」を11月に実施している。
25年度は藍場浜公園で地産地消の取り組みとして、各市町村が連携して出展することになっている。

「星谷工区」の早期着工を

拡幅により安全確保（町長）

国清一 治議員



本的な道路拡幅を当初から求めており、「星谷工区」の早期着工に向け強く要望しているが、今後の町の対応は。

答 中田町長

この地域は、道幅が狭く交通事故も多発している。道路拡幅によって、子供たちの安全と安心が確保される通学路となると認識している。今後とも、地元からの要望を聞き、県に強く要望して行きたい。

問 5月2日、町長に対し、生比奈小学校「PTA今山・黒岩・星谷支部」から「県道新浜勝浦線の通学路の安全確保と道路拡幅に関する陳情書」が出された。町は、6月に県知事へ要望書を提出し、それを受けて県は、通学路の安全確保として「交通安全施設」を設置する工事を発注した。しかし、交通事故が多発している地元星谷では、抜

南海トラフ巨大地震

勝浦の被害想定は

死傷者220人！（副町長）

問 徳島県が7月末に出した、南海トラフ巨大地震による勝浦町の被害想定は。

答 小林副町長

発生時期と時間にもよりますが、最悪で死者30人、負傷者190人。建物全壊は420棟、建物半壊760棟である。

問 驚くべき数字であるが、町の防災計画のなかで、どう取り組んで行くのか。

答 伊丹企画総務課長

現在、防災計画の見直し中であり、各地域の情報などを聞き、計画に組み込んで行きたい。

消防の常備化

どう進んでいるのか

小松島市と協議を進めている（副町長）

問 消防の常備化については、大災害の被害を最小限に防ぐためにも必要不可欠であり、早期整備を再三質問してきたがどう進んでいるのか。

答 小林副町長

現在、小松島市に消防業務である「消防・救急・救助・予防」の委託を要望している。

また、消防団の今後の運営などについても協議を進めている。



とりあえず「交通安全施設」を整備



町長選 3選出馬は

支持が得られるなら 立候補したい(町長)

問 中田町政の1期目と2期目を振り返っての思いは。また、来年1月21日告示、26日投票票予定の町長選挙に立候補する意思は。

答 中田町長

1期目は行財政改革に全力で取り組み、財政健全化に成果を出すことができた。

2期目は中学校の改築をはじめ、学校の耐震化や「道の駅」周辺の整備を進めることで、産業や観光の活性化を図れた。

また、沼江バイパス2期工事の完成や子育て支援策の充実にも力を注いだ。

町民の深い理解と、支持が得られるならば3期目も立候補したい。

問 立候補するにあたり、どのような課題に重点を置くと訴えるのか。

答 中田町長

「勝浦町総合計画」に基づき、若者定住促進やみかんを中心とした農業の振興、交流促進をはじめ、公共施設の耐震化などの防災対策

充実を訴えて行く。

どうなったのか。

役場庁舎、福祉センター

耐震診断結果は

問 役場庁舎、福祉センターの耐震診断の結果は、8月末に出る予定であったが、

最終決定値は9月末になるが、評定委員会に提出している数値では、IS値で役場庁舎が0・22、福祉センターが0・445である。

答 伊丹企画総務課長

最終決定値は9月末になるが、評定委員会に提出している数値では、IS値で役場庁舎が0・22、福祉センターが0・445である。

問 役場庁舎のIS値0・22は「倒壊する危険性が高い」、福祉センターの0・445は「倒壊する危険性がある」という水準だが、今後どう進めるのか。

答 中田町長

決定値が分かりたい専門家に見聞き、早く対応したい。

問 いかにも利便な財源を確保するかが町の財政に最重要だが、「緊急防災、減災債」は26年度以降の財源確保は不透明な状況であり、「過疎債」も適用外である。

公共施設の耐震化にも利用できる「防災安全交付金」の26年度以降の見通しは。

答 小林副町長

「防災安全交付金」は、3年から5年は継続される予定である。



耐震診断を終えた庁舎と福祉センター

美しい・町のボランティア

シリーズ③

進めよう！古紙のリサイクル 「勝浦を考える会」

今回は平成2年に「生活学校」としてスタートし、長年にわたって新聞や雑誌、ダンボールなどのリサイクル活動を行っているグループを紹介します。

婦人の家と改善センターの倉庫に持ち込まれた古紙を整理し、リサイクルを進めることで環境にやさしい町づくりに大きな貢献をしています。

現在、会員は14名ですが、高齢化のため今後の活動が心配されています。

若い方の会員を募集しています。



会長
岸上イマノさん

メンバー紹介

(順不同・敬称略)

中	西	桂	子
古	井	利	子
松	浦	征	子
山	路	幸	子
松	下	節	子
大	久	保	君
尾	下	マツ	エ
山	西	一	子
大	井	珍	枝
坂	部	幸	子
駒	津	ナツ	エ
佐	藤	啓	子
森	本	悦	子



表紙写真

9月22日に行われた、生比奈小学校運動会の金管バンド、ドラムメジャー石田さんほかのみなさんです。

(二治)

「家屋の耐震化」にほかならない。

7月に南海トラフ大地震の町の被害想定が発表され、死傷者210人、家屋の全半壊1180棟と、津波が想定されない町で、想像を絶する。

今までの避難を中心とした防災訓練でいいのか。隣接市町村の被災者をどう受け入れるかなど課題は多い。

しかし、今一番にやるべきことは

心なごませる花でもある。

町議会も通年会期制となり9月を「フモス会議」と呼んでいるが、心なごむことなく、大災害、防災に質問が集まった。

秋風に微笑む「フモス」、なんと可憐で清楚な花かと、つい足をとめる…。「町の花」に指定されたのが昭和60年。勝浦町合併30周年の記念にと、町民の多くの声で決まったと聞く。

編集後記

